

2022年度大学院研究科博士前期課程・修士課程入学試験問題

No. 3

日程	研究科	区分	試験科目
A日程	経済学研究科	一般 外国人留学生	専門科目 (経営・会計学に関する問題)

経営・会計学に関する問題

問

下記の3問中1問を選択し、解答用紙に解答しなさい。その際、解答する問題の番号を必ず明記すること。

1. 日本における執行役員制は、1997年6月に初めてソニーで導入され、その後、大企業の間で急速にその導入が進みました。まず、執行役員制とは何か、そしてそのメリットは何か説明し、執行役員制が日本の大企業の間で急速に普及した理由を説明しなさい。
2. 企業が不祥事を起こした際、再発防止策として「経営者のコンプライアンス意識の向上」などといった具体性に欠ける項目をあげる企業は少なくありません。経営者がステークホルダーとの間に存在する様々な課題の解決・改善に自発的に取り組むことを意味する「企業倫理」は、社内の体制として確立すること、すなわち、制度化（「企業倫理の制度化」）することによって、より具体的になり有効に機能します。この「企業倫理の制度化」にはどのようなものが考えられるか説明しなさい。
3. 日本の上場企業は、日本会計基準、国際会計基準（IFRS）、米国会計基準の中から会計基準を選択し財務諸表を作成しています。この3つの会計基準の主な相違点について説明しなさい。